



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第19号

令和5年9月29日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 火曜日から始まりました！！

今週の火曜日から、いよいよ学校祭に向けた「特別日課」が始まり、学校祭までの2週間だけ設定された「7時間目」に、各ブロックで集まって「体育祭」で発表するダンスや「文化祭」で発表をする合唱の練習に取り組んでいます。

この「7時間目」は、登下校の時刻を変更しない中で普段の日課を切り詰めて設定をしているために、時間を40分しか確保できず、活動に不慣れな子どもたちが、みんなで集まって練習を開始するのに時間もかかってしまい、体感的に活動時間がとても短く感じます。3年生の中には、「本番までに、きちんと演技が完成するかなあ？」と焦りを感じている人もチラホラいるようですが、限られた時間の中でブロックが団結をして、最後には達成感やブロックの絆が感じられるような活動になることを期待しています！



さらに今週の火曜日から、先日保護者の皆さまに案内をさせていただいた「学校公開」も始まりました。公開初日の火曜日には、急なお知らせの翌日にもかかわらず、早速4名の保護者の方に学校へ足をお運びいただき、その後も毎日何人かの方にお越しいただくことができています。子どもたちががんばっているところ、逆にがんばれていないところなど、多様なありのままの姿を見ていただき、地域ぐるみで子どもたちを育てる「共育者」として、子どもたちのために多様なお声かけもしていただけたら嬉しく思います。

♪ 「研究成果」の発表に向けて

来週木曜日の5日は、普段と違って4時間授業で給食後に下校という特別な日課になっています。毎年10月の上旬に決まってこのような日があり、「なぜだろう？」と思っている方もいるかと思います。実はこの日は、「海部地区現職教育研究発表会」が地区内の各会場に分かれて開催され、ほとんどの先生方が会に参加をするため、海部地区の小中学校が同じような特別日課となっています。

今年度の「研究発表会」の開催にあたって、本校は「総合的な学習の時間」の実践を通じた研究に4月から職員みんなで取り組んでいて、今年度の学校代表を務める2年担任の後藤先生が、研究成果のまとめを多くの先生方に向けて発表をする予定となっています。

そんな「晴れ舞台」を前にした今週月曜には、発表の「リハーサル」を校内で先生方に向けて実施し、職員みんなから改善のアドバイスやこれまでの準備に対する労いの言葉をもらっていました。私たち教員の義務として「研究と修養に努める」ことが定められていますが、本校の先生方のこういった地道な活動も皆様に知っていただき、ますます学校を応援していただくきっかけになれば嬉しく思います。

